

## からだ・こころ・くらしを見守る「すこやか子育てガイド」

**小枝 達也**

鳥取県立総合療育センター

平成30年12月に成立した成育基本法に基づいて、厚生労働省より令和5年3月に「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」の改正が発出された。この中に成育過程にある者等に対する保健の一つとして、「乳幼児期における保健施策」があり、乳幼児健康診査に関する項目が示してある。

1. 母子保健事業（乳幼児健診等）を活用した子育て支援を推進
  2. 乳幼児健診の推進、学童期及び思春期までの切れ目ない健診等の実施体制整備に向けた検討
  3. 関係者が連携し、乳幼児健診等の精度管理や広域的支援を推進
- 健やか子育てガイドは、これらの方針に沿い、乳幼児健康診査をより充実したものとすることを目指して作成された。乳幼児健診においては、子ども達をBio-Psycho-Socialな視点で診ていくことが求められる。これまでのようBioの視点で疾病を早期に発見したり、予防につなげることを維持しつつ、Psycho-Socialな視点を取り入れて、子どもと家族の心理的な健康、社会との健全なつながりについても健診で関わっていくことを目指している。

健やか子育てガイドは問診票とそれに対応した子育てガイドの2つで構成されている。問診票は、米国小児科学会が策定しているBright Futures とその日本語版を参考にして作成された。子どもの健やかな育ちに欠かせない栄養や摂食、排せつ、睡眠、遊びなどの生活に関する項目に加えて、事故予防に関する項目、親子の関係性ならびに保護者の心理的健康の項目から構成されている。問診票で気になる項目がある時は、それに対応した子育てガイドの該当箇所を見ながら、標準的な指導ができるように、医師が伝える言葉として例示してある。また収集したデータに基づいて保健指導の根拠も示してある。健やか子育てガイドを出発点として、さらに保健指導がより良いものへと発展することを願っている。

健やか子育てガイドは「令和5年度子ども家庭科学研究費補助金等 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 身体的・精神的・社会的（biopsychosocial）に乳幼児・学童・思春期の健やかな成長・発達をポピュレーション アプローチで切れ目なく支援するための社会実装化研究（研究代表者 永光信一郎）」にて行われた。ここに謝意を表する。